

2019年度 地域包括支援センター職員向け 困難事例対応力向上研修

1. 主催 兵庫県
2. 主管 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 地域包括支援センター支援委員会
3. 研修目標・内容
 老老介護等の生活が困難な高齢者世帯や、子の引きこもり等家族支援の必要性が高い世帯が増加しています。複合的な課題を抱える高齢者や家族に対して適切かつ継続的な支援を行うために、地域包括支援センター職員の資質向上及び、地域包括支援センター職員の定着促進を図ることを目的として、地域包括支援センター職員のため研修を実施します。
 共通研修では「困難事例」とは何かを考え、困難事例に対応するためのチームアプローチのあり方について学びます。演習1では、支援者支援が求められる事例について、事例のアセスメントから支援方針の合意形成に至るプロセスをチームアプローチで考えます。また、演習2では、精神疾患への対応を学びます。
4. 受講対象 地域包括支援センター職員・地域包括支援センター管理責任者
 ならびにコミュニティーワークに関わる方
5. 定員 各回 60人程度（先着順）
6. 受講料 500円（資料代。当日お支払ください）
7. 準備
 ＊共通研修：ご自身もしくはセンターが経験した「困った」「困難で凹んだ」事例を演習で使用します。事例を思い浮かべ、概要が説明できる状態でご参加ください。
 （書類、記録などは不要です）
8. プログラム
 ＊研修は3種類あります。
 1種類から受講可能ですが、研修効果を高めるためには3種類の受講を推奨します。

【共通研修】 ◇ 受付 9:20 開始

時間	講師	内容
9:40～ 16:55	関西学院大学 人間福祉学部・人間福祉研究科 大和三重教授/ 兵庫県社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会	【演習】困難事例とは ・各自が経験した困難事例から要因を考える 【講義】困難事例に対応するための3職種のチームアプローチのあり方について *講義のみ、2018年度と同内容です。 (演習は別内容です。)

【演習1】 ◇ 受付 12:30 開始

時間	講師	内容
13:00～ 16:40	兵庫県社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会/兵庫県介護支援専門員協会	困難事例対応演習①： 「支援者支援が求められる困難事例」 *2018年度「事例演習1」と同内容です。

【演習2】 ◇ 受付 12:30 開始

時間	講師	内容
13:00～ 16:40	兵庫県社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会/精神科訪問看護ステーション看護師	困難事例対応演習②： 「精神疾患への対応について」 *2018年度とは別内容です。

9. 申込方法 申込書に必要事項を記入し、FAXかメールにて兵庫県社会福祉士会事務局へお申込みください。受講者1名につき、1枚の受講申込書が必要です。
 受講決定は「事務局受付欄」に受付印を押印後FAXにて送付します。

※自然災害等により研修開催を延期する場合があります。「兵庫県社会福祉士会 HP または兵庫県社会福祉士会 Facebook」に掲載しますので、必要に応じてご確認ください。個別連絡はいたしませんので、予めご了承くださいませようお願い致します。

2019年度 地域包括支援センター職員向け 困難事例対応力向上研修 申込書

ふりがな						
氏名						
職場住所	〒					
職場名						
ご連絡先 (職場)	TEL :		FAX :			
	E-Mail :					
職種 (いずれかに○)	① 社会福祉士		② 保健師・看護師		③ 主任ケアマネジャー	
	④ 行政職員		⑤ その他 ()			
地域包括支援センター経験： () 年 () か月						
*複数センターで勤務されている場合、通算経験年数を記載してください。						
受講を希望する日に ○をしてください *研修は3種類です。	区分	月	日	曜	研修コード	会場
	共通研修①	6	18	火	包括01	兵庫県福祉センター 203 会議室
	共通研修②	8	20	火	包括02	姫路駅前じばさんビル 601 会議室
	演習1-①	6	24	月	包括03	兵庫県福祉センター 203 会議室
	演習1-②	7	17	水	包括04	姫路駅前じばさんビル 601 会議室
	演習1-③	8	1	木	包括05	兵庫県福祉センター 203 会議室
	演習2-①	10	4	金	包括06	兵庫県福祉センター 203 会議室
	演習2-②	11	6	水	包括07	兵庫県福祉センター 203 会議室
	演習2-③	12	12	木	包括08	姫路駅前じばさんビル 901 会議室
受講に際して必要な配慮などがあれば記入						事務局受付欄